

英作文教材

Improving Your Writing

表現力をつける英作文

佐藤 寧

J. Kevin Varden

佐藤裕美

NAN'UN-DO

最近では外国語の運用能力、とりわけオーラル・コミュニケーションがますます重視されて、文法・訳読中心の授業は中学校・高等学校のみならず大学においても不人気になってきた。これは今日の世界情勢あるいは私達の社会が要請している外国語教育の方向転換であるが、ともすると創意・工夫を惜しんで安易に行いがちな文法・訳読中心の授業を排除するためには効果があるように思われる。

ところが、このような外国語教育の状況にあって一つ問題が生じている。それは、英語の文法は英語を読んだり書いたりする上で欠かせない知識として過不足なく指導すべきであるが、オーラル・コミュニケーションを重視するあまりこれをおろそかにしがちである。さらにまた中学校・高等学校での授業実数の少ないことも手伝って、大学に入学した学生の英作文を見てみると、当然知っていなければならない基本的な文法の知識に欠けているか、もしくは作文するときにその知識がモニターの役割を果たしていないことが多い。

今日、世界はグローバル化の流れの中にあり、メディア開発がもたらしたIT革命のただ中にある。したがって、誰れもが必要に応じてインターネットにアクセスし、情報をやりとりすることが可能となり、またそれが要求される。そして、世界を飛び交う情報の90%前後が英語を媒体としている事実から、英語の読解力と作文力のさらなる向上が望まれる。

とくに、英語で文章を書くことは日本人が最も苦手とするところである。佐藤寧は卒業論文の指導で学生が書いた間違いだらけの英語を読まされ、Kevin Vardenは学生が提出したレポートの奇妙な英語に悩まされ、佐藤裕美は四苦八苦しながら授業で学生に英作文を指導している。このようなわけで著者達は、基本的な文法知識を与えながら、学生の作文力を向上されることを目的としたテキストを書く決意をした。本書が扱うトピックは学生が興味を抱くであろうと思われる大学生生活に関連したものに限定した。また、学生に知っておいて欲しい文章作法もとりあげた。本書は、学生が文の書き方から始め、やがて長い文章（エッセイ）を書くときにパラグラフをその単位として書けるようになることを目標とした。

最後に、本書の出版を勧められ、しかし遅々として進まない著者達の仕事に忍耐をもって待っていただいた編集部長の青木泰祐氏に心より感謝の意を表したい。

2000年8月

著者

1. 本書の構成

本書は、(1)学生が逐語訳から脱皮し、適切かつ自然な英語の文章を書くようになること、(2)作文するときに自分の考えを論理的にまとめ、読みやすい文章を書くようになること、の2点を目標に全体の構成を考えた。

本書はChapter 1からChapter 12までの12章からなる。前半のChapter 1～Chapter 6では、Punctuation（句読法）を付加的な情報として取り上げ、後半のChapter 7～Chapter 12では、Sentence Combining（文の結合法）にかなりのスペースをとり、説明と練習問題を付けた。全体は大きく分けて3つの部分、すなわちA. Grammar Review, B. Expressions, C. Writing Exerciseで構成されている。本書の最終的な目標は、学生が英語で長い文章（エッセイ）を書くときにパラグラフをその単位として書けるようになることである。

2. Grammar Review

Grammar Review（文法の復習）はまずPretestに始まる。Pretestは誤りを指摘する基本的な文法問題であり、これに全問正解できたら文法の基礎知識がしっかりしていると考えられるので、次のCheckpointをとばすことも可能である。

Checkpointは中学校・高等学校で学んだ基本的な文法項目が中心で、作文をする前に復習すべき項目である。とくに、Pretestで成績のよくなかった者はこのセクションをしっかりと学んで、次のGrammar Exerciseに挑戦して欲しい。

Grammar Exerciseは2問あり、それらに解答することによって文法の基礎知識を再確認するだけでなく、作文するときに文法の知識をモニターとして使うことが出来るようになるための練習問題である。

3. Expressions

Expressions（表現集）は各章のトピックについて書く時に便利なように精選し、あるいは例として取り上げたものなので、関連する表現を網羅したものではない。また、この後に続く作文に使えることも選別の基準とした。したがって、ここで取り上げた表現は全て使えるように習熟しておくことが望ましい。

4. Writing Exercise

Writing Exercise (作文練習) は3つの部分からなる。1はカッコ内の語句を必要に応じて変化させ、さらにそれらを並べ替えて、日本語の意味に合うように英文を完成させる問題で、ねらいは日本語と英語の語順の違いを認識させることと、すでに学んだ文法知識を活用させることにある。さらに、ここで取り上げた日本語とその英語訳は作文のモデルの役割も兼ねている。

2は従来型の英作文の問題である。この種の問題の中には日本語の表現を英語に直訳しても自然な英文にはならないものも含まれる (Appendixの「日英の発想の違い」を参照)。また、取り上げた問題は各章で学んだ文法項目あるいはトピックに関連があるので、それらが作文するときの隠れたヒントになる。

3はパラグラフを中心にした作文練習である。文章を書くことは、結局は、パラグラフを書くことである。したがって、パラグラフについての知識を得ながら、パラグラフの書き方を学べるようにした。最初から好きなテーマについて自由にパラグラフを書く練習には無理があるように思われる。したがって、始めは疑問文に答えることによって一つのまとまりのある文章を書く練習にした。

パラグラフの書き方については全てを網羅したわけではなく、その必要な知識のエッセンスを簡単に記述したものである。学生には本書の説明で十分であるが、英語で文章を書くときの常識と心得てもらいたい。また、授業では教師が補助教材などを積極的に活用されることを望みたい。

目 次

Chapter 1 Meeting New People at College	10
A. Grammar Review: Definite and indefinite articles (冠詞と不定冠詞)	10
B. Expressions	11
C. Writing Exercise	12
Paragraphs: File 1 — パラグラフの形式 (Indentation)	13
Punctuation (1) — 大文字	13
Chapter 2 Attending Classes	14
A. Grammar Review: Passives, subject-verb agreement (受動文, 主語と動詞の一致)	14
B. Expressions	15
C. Writing Exercise	16
Paragraphs: File 2 — 話題文 (Topic Sentences)	17
Punctuation (2) — セミコロンとコロソ	17
Chapter 3 Pastimes	18
A. Grammar Review: Tense, aspect (時制, アスペクト)	18
B. Expressions	20
C. Writing Exercise	20
Paragraphs: File 3 — まとまりと支持文 (Unity and Support Sentences) ...	22
Punctuation (3) — 引用符	22
Chapter 4 Volunteer Activities	23
A. Grammar Review: Modal auxiliaries (法助動詞)	23
B. Expressions	24
C. Writing Exercise	25
Paragraphs: File 4 — 結論の文 (Concluding Sentences)	26
Punctuation (4) — ダッシュ	26
Chapter 5 Environmental Problems	27
A. Grammar Review: Infinitives and gerunds (不定詞と動名詞)	27
B. Expressions	28
C. Writing Exercise	28
Paragraphs: File 5 — 一貫性 (Coherence)	29

Punctuation (5) — アポストロフィー	30
Chapter 6 Cultural Differences	31
A. Grammar Review: Relative clauses (関係詞節)	31
B. Expressions	33
C. Writing Exercise	34
Paragraphs: File 6 — 大支持文と小支持文 (Major and Minor Support Sentences)	35
Punctuation (6) — イタリック	35
Chapter 7 Studying Abroad	36
A. Grammar Review: Noun clauses (名詞節)	36
Sentence Combining — 等位接続詞 (Coordination)	36
B. Expressions	38
C. Writing Exercise	38
Paragraphs: File 7 — パラグラフの構成と論理的順序 (Organization and Logical Order)	39
Chapter 8 Part-Time Jobs	40
A. Grammar Review: Negation (否定)	40
Sentence Combining — 従属接続詞 (Subordination)	41
B. Expressions	42
C. Writing Exercise	42
Paragraphs: File 8 — 位置関係による順序 (Spatial order)	43
Chapter 9 Youth and Politics	44
A. Grammar Review: Participial phrases (分詞構文と分詞による名詞修飾)	44
Sentence Combining — 分詞 (現在分詞と過去分詞)	45
B. Expressions	47
C. Writing Exercise	47
Paragraphs: File 9 — 時による順序 (Time Order)	48
Chapter 10 Spending Holidays Abroad	49
A. Grammar Review: Comparatives and superlatives (比較級, 最上級の表現)	49

Sentence Combining — 同格 (Appositives)	50
B. Expressions	51
C. Writing Exercise	52
Paragraphs: File 10 — 展開方法 (Complex Methods of Paragraph Development)	53
Chapter 11 Job Hunting	54
A. Grammar Review: Causative verbs (使役動詞)	54
Sentence Combining — 独立分詞 (Absolutes)	54
B. Expressions	56
C. Writing Exercise	56
 Chapter 12 Information Technology	58
A. Grammar Review: Adverb clauses of conditions and conditional mood (条件節と仮定法)	58
Sentence Combining — 前置詞句 (Prepositional Phrases)	59
B. Expressions	60
C. Writing Exercise	60
 Appendix (1) チェックリスト	63
Appendix (2) 日英の発想の違い	64
Appendix (3) 手紙の書き方	66
Appendix (4) Sample Essay	67

Improving Your Writing

Meeting New People at College

A. Grammar Review Definite and indefinite articles (冠詞と不定冠詞)

◆ Pretest : 次の英文の誤りを指摘しなさい。

1. I'll meet you at station after school.
2. My friends and I went to outdoor concert yesterday.
3. Water in this glass has now turned red.
4. That sounds too old. This is twenty-first century, you know.

◆ Checkpoint

用法	可算名詞	不可算名詞
無冠詞 + 単数形	<ol style="list-style-type: none"> 1. 呼びかけ (通例, 大文字で) : Do I have to come again tomorrow, <i>Doctor?</i> 2. 対になる事柄 (人) に言及 : They had to guard the safe, <i>day</i> and <i>night</i>. など。限定的な用法 (注1)。 	(特定しない) 抽象名詞、 物質名詞の場合 : <i>Time</i> is money. <i>Honesty</i> is the best policy.
a (n) + 単数形	<ol style="list-style-type: none"> one (among many) を表す : I'm an English <i>major</i>. 総称, 種類 (その一例) を表す : This is a <i>dog</i>, not a <i>cat</i>. 	(注2)
定冠詞 + 単数形	<ol style="list-style-type: none"> 1. 特定のもの (人, 団体) など : The black <i>coat</i> is mine. 2. 後置修飾により特定する場合 : The <i>book</i> you gave me is very interesting. 3. 種類 (全体) を表す : The <i>cat</i> has been a companion to humans for thousands of years. 4. 唯一の存在を表す : The <i>earth</i> is round. 	特定の物質や状態に言及 : The <i>grass</i> is greener on the other side of the fence.
複数形 (無冠詞)	<ol style="list-style-type: none"> 総称的な用法 : <i>Potatoes</i> are nutritious. 	(注3)
定冠詞 + 複数形	<ol style="list-style-type: none"> 特定のあつまり (団体) を指す : The <i>potatoes</i> in this soup are soft. The <i>Americans</i> are a diligent people. 	

注1 : 名詞の表す機能が問題になるとき (例, We have *school* tomorrow.) や前置詞と共に用いる場合 (例, at school, by bus, on foot) などの時にも無冠詞で使われる。

注2 : 一般に, 不可算名詞であるが, 多くの場合に形容詞を従えて可算名詞として用いられ, ある状態を意味することがある (例, He gave the game a desperate *gaiety*.)。また, It was a *surprise*. のように形容詞を従えない場合もある。

注3 : 一般的に不可算名詞として用いられるが, 可算名詞として種類や個を表すことがある (例, assorted *liquors*)。

◆ Grammar Exercise

1. 正しい語形を選び文を完成しなさい。
- Ken bought a radio and a Walkman, but he returned (a / the) Walkman.
 - Excuse me. Pass (the / -) butter, please.
 - Most people find it easier to learn (language / languages) when they are young.
 - Many people say that thrift is (a / -) virtue.
 - (A / - / The) development of big cities in this country is causing (the / -) serious problems for future generations.
2. 次の文の誤りを直しなさい。
- I bought some furnitures yesterday.

 - Language is means of communication.

 - The place I come from has many mountains, river and wild animals.

 - The typical French dog is not something I would call dog; it is carried around all day like handbag.

B. Expressions

1年生 a freshman 2年生 a sophomore 3年生 a junior 4年生 a senior
 専攻 a major 授業をさぼる to cut a class 専攻する to major in 履修登録する to register for a class / course 学位 a degree 試験に合格する to pass an exam
 学位を取得する to obtain a degree 学士号 a bachelor's degree (Bachelor of Arts =B.A.など) 試験に落ちる to fail an exam, to flunk a test 大学院 graduate school
 寮 a dorm (itory) (食事付き) 下宿する to room in ... (to live in a boarding house)
 成績 a grade 成績表 a grade report 教授 a professor ~でAをもらう get an A in ~
 学生食堂 the student cafeteria 単位 a credit 奨学金 a scholarship
 交換留学生 an exchange student 経済学部 the Department of Economics

C. Writing Exercise

1. カッコ内の語句を必要に応じて変化させたり冠詞を補ったりし、さらにそれらを並べ替えて、日本語の意味に合うような英文を完成させなさい。

大学での寮生活から得られるものは多くあります。大学の施設の近くに住んで便利だということの他に、様々な親睦のためあるいは教育のための活動に参加したり、異なった文化的背景をもった人達に出会う機会が得られます。

Life in university dorms (have / much / offer / so / to). Besides the convenience of living close to campus facilities, you will have (to participate in / social and educational program / the opportunity / wide variety of) and meet people with different cultural backgrounds.

2. 次の日本語を英文に直しなさい。

- a. 多くの学生にとって最大のチャレンジの一つは授業と友達付き合い、アルバイト、課外活動のバランスをとることだ。

ヒント：アルバイト part-time jobs, 課外活動 extracurricular activities

- b. 日本政府は日本で学ぶ外国人留学生への奨学金の数を増やす計画だ。

ヒント：奨学金の数 the number of scholarships

- c. しばしば日本の学生は四年間の大学生活を生活のために働き始める前の休暇と見なす。

ヒント：生活のために働く to earn one's bread

3. a. 次の自己紹介文の下線部に含まれる英語の誤りを指摘しなさい。

I would like to introduce myself. My name is Ken Tanaka. I am freshman majoring in politics at Meigaku University in Tokyo. I grew up in Kamakura, Kanagawa, an ancient capital of Japan. My house is located near the beach. So in the summertime I go out to beach and enjoy surfing almost every day. Before I entered the university I wanted to be a lifeguard, but now I am thinking of becoming politician and working to protect environment. I am sure the courses I am taking will prepare me for my future career.

Paragraphs: File 1 Indentation

日本語に段落があるように、英語にはパラグラフがある。パラグラフはひとまとまりの思考を表現する単位と考えることができる。パラグラフの出だしは(普通5ストローク)あけるが、これをindentationと呼ぶ(3. a 参照)。パラグラフを書き始める場合には、いつも同じストローク分のスペースをあける。

- b. 下線部に()内のヒントを参考にして適当な語句を補い、パラグラフを完成させなさい。

I would like to introduce myself. My name is _____. I am a _____ (学年), majoring in _____ (専攻) at _____ (大学名) University. I grew up in _____ (出身地) with my _____ (家族). I like to _____ (趣味). I am now interested in _____ (関心を持っていること). I would like to _____ (将来したいと思っていること) after I graduate from the university.

メモ

1. 通例、正式な手紙や文章では短縮形 (e.g. I'm, I'd, She's) は用いない。
2. 単語が2行にまたがる場合にはハイフンを使って単語を書き分ける。基本的には音節と音節を繋ぐ (e.g. in-troduceまたはintro-duce)。わからないときには辞書を参照する。

Punctuation (1) — 大文字

次のような場合、単語の書き出しは大文字にする。文頭 (e.g. Peanuts are not nuts.), 固有名詞 (e.g. New York), 作品名 (e.g. Origin of Species, Gone with the Wind), 肩書き (e.g. President John F. Kennedy), 国籍 (e.g. Japanese), 曜日 (e.g. Sunday), 略語 (e.g. the U.N.) など。